知教労ニュース

発行　知多地方教職員労働組合（知教労）
〒475-0929 半田市仲田町1-18　Tel&Fax 0569-24-5216
HP:http://www.chikyoro.ikaduchi.com/ e-mail:chikyoro@oboe.ocn.ne.jp

09年度方針を採択 第18回定期大会開催される 新執行部を選出

働く者を取り巻く きびしい情勢のなかで

アメリカに端を発した金融危機、世界的な不況、大企業よる、労働者の使い捨てなど、厳しい情勢の中で、一月二十四日、アイプラザ半田にて、知多地方教職員労働組合第十八回定期大会が開催されました。

岡田書記長からの総括報告に続く論議では、「個別の校長交渉等を通して、いくつかの学校で日常勤務の割り振り簿の整備を実現できた」「職場で管理職によるパワーハラスメントがあったが、組合の素早い対応で改善された」などいくつかの成果が発言されました。

新たな運動の展開に向けて

10名の新執行部を選出した後、09年度活動方針の論議に入りました。

うつ病を発した同僚がいる、という発言に対して「労災としてサポートしていく運動が必要ではないか。」「半田市では、定例監査の際に、職員の教育に対する姿勢まで批判するといった越権行為があった、抗議すべき。」など活発な意見が出されました。

また、地域手当て、義務教育教員特別手当ての減額に対しての取り組み等数々の発言があり、引き続き、今後も運動を続けていく必要があります。

他にも、これからの課題もいくつか論議されました。中でも勤務時間の把握においては、出退勤簿は、つけていないと労働安全衛生法違反の非違行為となり、校長が懲戒対象となることが話題になりました。それを踏まえて、各市町で措置要求を出す運動の意義が話されました。幾つかの発言を通して、今後の取り組みへの具体的な課題が見えてきた意義ある大会だったと言えるでしょう。

最後に、二十代の若い組合員からの「成果が上がっているということが肌で感じられる一年だった」との締めくくりが印象的でした。

総括を報告する岡田書記長

賃金の更なる削減を許すな

国は、義務教育等教員特別手当（一般公務員よりも賃金を高くする措置）を今までの3.8％から3％へとこの1月から下げてきました。今度は愛知県が、地域手当を10％のままにすると総務省が県債の発行を許可しないからという嘘の理由で地域手当削減を提示してきました。組合側が、他府県ではそんな事実はないと反論したにも関わらず4月から8％（再来年度5.6％）への削減を押しつけました。

その怒りも収まらないうちに、県財政は四千九百億円の赤字が見込まれるとマスコミに情報を流し、世論を誘導しておいてから給与削減の提示をしてきました。給与は必要経費として削減枠から外すべきところを、一般の歳出と同列に扱って削減計画を立てています。今のところ、給与から4％、期末勤勉手当から4％の大幅な削減額を示しています。これは、一年間だけの予定とはいえ、ほぼ一ヶ月ただ働きに等しい額になります。地域手当の削減と重なっての大幅な削減です。しかも管理職手当については未だ削減を示していません。手をつける順番が違います。

10年前に愛知県は歳入の大幅な下落が予想されるということで賃金カットを行ったことを忘れることはできません。そのとき、見積りが甘かったため最終的に県財政が黒字になったにも関わらず、我々から奪った金は一円も返してきていません。

また、国の人事院が15分の時短を勧告したにも関わらず、愛知県は短縮をしないと明言しています。しかし、一日15分は一週間で75分。一年(47週)で約7.3日にもなります。賃金を削減するだけでなく、これだけの労働もただ働きさせようとしているわけです。

愛知県当局の給与と労働時間に関する二重の収奪は許せません。このままでは家族にまともな教育を受けさせることすらできなくなります。今年は各地で首長選挙もあります。皆さんの声を大きく県政に反映させるよう行動していきましょう。

北から南から　～～ 支部だより ～～

4年に1度の市の定例監査があった。財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理の監査の後の質疑応答の際、監査委員から、「50代の先生がやる気になってもらわないと困る。」「放課に職員室に戻る先生は多いか。」など、管理事項とはかけ離れた発言があった。

この発言には次の二つの問題がある。

①定例監査の場で、教育の内容に関わる発言をしたこと。

②50代の先生方の実態を十分つかまずに、批判的な発言をしたこと。

人員構成の面で50代の教員が多く、その人たちにも頑張ってほしいというのが真意（後の校長との面談から）のようであるが、監査委員という立場で許される発言であろうか。

東京板橋区の定期監査結果報告を探し当てた。その中に、

①監査の範囲

財務に関する事務・施設及び備品の管理状況

②監査の着眼点

・予算の執行　・経費の執行状況　・備品管理　・年間契約の事務

きちんと、監査の仕事を明らかにして実施している。

現在、監査委員会へ「監査の範囲とは何ですか。」「着眼点は何ですか。」と電子メールで、質問を送ってあります。結果を踏まえて、今後とも追及していかなくていけない問題だと強く思っている。　(I)

みんなの目

今年度、小学校一年生を担任している。四月の入学以来、子どもたちの成長はすばらしいと思う。給食の配膳や清掃を自分たちでできるようになったり、発達障害と思われる子が椅子に座って授業を受けられるようになった。年度当初から教頭がTTで国語の授業に入ってくれているが、その緊張感が子どもに浸透している▼町全体が幼保小中連携の取り組みをしているため、保育士や中学校教諭が一年生の授業を見に来た。時には、県外からの訪問もある。一方、特別支援学校からも巡回訪問を受けたことがある▼訪問に向け、授業計画や教室環境をどうしようかと何でもないことに気を遣ってしまい、それが時に苦痛になることがある▼子どもにとってはどれもいいことではあるが、職場として働き易いかと考えてしまう▼子どものためにと、つい仕事の手を広げてしまうことがあるが、それがかえって自分を苦しめていることはないだろうか？「子どものため」だけに振り回されず、ゆとりを持って楽しくやれることを始めたいものである。

（H）

がんばる県下各地の連帯組

戦争への道を進むな！

三河教労の活動

三河教労は、以前から機関誌で「日中・太平洋戦争と教育」という１８回にも渡る連載を通して、戦争への学習を深めてきました。また、一昨年の夏には日本青年会議所が配布したDVD「誇り」を配布しないよう申し入れ、学習会を開いてどこが問題なのか批判的に批判的に学習会しています。豊田市では、教育委員会に申し入れを行なった結果、教育委員会が青年会議所の要請を断る成果を上げました

ところが、岡崎市では、元自衛隊航空幕僚長の田母神俊雄氏を呼んで２月２８日に４００名規模の講演会を行い、そこに市長まで参加しようとする異常な状況だそうです。現在、彼は問題になった論文を書いたことで日本中のあちこちで引っ張りだこです。愛知県内でもすでに昨年に名古屋市で講演会が行われています。

三河教労では、昨年立ち上げた教職員９条の会の活動として、岡崎９条の会から講師を呼び田母神「論文」問題を題材にして「日本の侵略の歴史」の学習会を行いました。

「鳥居労災」や人事問題など、どんなことにでも機敏に対処する三河教労の活動は、参考になることが多いです。岡崎市の会が今後どうなっていくのか、推移を見守りたいと思います。

知ってるってるつもり・Q＆A

Q　派遣労働者の解雇が問題になって以来、「組合を結成して会社と交渉した」というニュースをよく見聞きします。労働組合は2～3名という少人数でもつくることができるのですか。また、派遣労働者やパート、教員でいうなら非常勤講師でも入ることができるのですか。

A　少し堅い話になりますが、憲法28条で、労働者の団結権、団体交渉権、団体行動権は国民の基本的人権として保障しています。そして、「労働基準法」「労働組合法」などの法律で、それを具体化しています。

ご質問の件ですが、組合は、「労働者が主体となって、自主的に労働条件の維持改善その他経済的地位の向上を図る」という目的なら2名以上の労働者で結成することができます。結成したり加入したりするのに使用者(雇用する側)の許可は必要ありません。そして、使用者は、労働組合から交渉を求められた場合、交渉を拒むことはできません。交渉の申し入れを行っている場面は、テレビや新聞等でよく報道されましたね。労働組合と使用者は、対等な立場で交渉をしたり労働協約を結んだりすることも法律で定められています。

そして組合員の要件ですが、労働組合法で、「労働者とは、職業の種類を問わず、賃金、給料その他これに準ずる収入によつて生活する者をいう。」と定めています。したがって、派遣社員、講師の教員など、いわゆる非正規雇用の人たちも組合に加入することができます。

知教労も加入はもちろん、講師の立場の先生からの相談にも応じています。

私のキャベツダイエット

きっかけ編

2008年の夏には、自分がこんな記事を書くとは夢にも思わなかった。夏休み、司書教諭講習で静岡大学に12日間通った。そばが旨いし、夏のこととて毎晩生ビールを飲んでいた。8月末には体重が2kg以上増えて、57．5kgになっていた。身長は152cmだから、BMI（体重指数）は25で、それほど肥満というほどではないが、コレステロール値もあがっていただろう。

ちょうど長寿医療センターの定期健康診断も受けたところだった。1週間万歩計をつけたが、歩いていないなと感じた。特に休日が運動不足だ。またそのころ、翌年のバカンスはスイスの峠を越えることに決まった。運動不足ではまずい。そんなこんなで、ついに減量を決意する。

9月中旬から、万歩計をつける。カレンダーに日付を記入し、体重と歩いた歩数を記録し、寝室の壁にはった。1週間の減量の目標を500gにした。

食事編

全体に食べる量を少なくする。給食は量が多いので減らしてもらい、減らせない分は、気がひけるが残す。脂肪が多い食事、ご飯やパンを減らし、牛乳は朝飲んでいるので給食では飲まないようにした。

夜は、野菜が多い食事にし、油脂は減らす。減らした食品は、調理油、焼き肉、アイスクリーム、ケーキ、ビール、正月のもちなど。一方、増えた食品は、菜っぱ類、キャベツ、白菜、小松菜、蕪、ブロッコリー、みかんなど。

こんにゃくの田楽は人気食品。 ただし、たんぱく質の摂取が減りすぎたり栄養バランスがくずれるといけないので、普通の献立を作り、少し食べて、残りはカロリーが少ない野菜料理で空腹にならないようにする。

よくテレビでキャベツを食べるといいという話を聞くが、キャベツは安いし、調理方法もいろいろあって飽きないし、よい食品だ。特にポトフ（洋風野菜肉おでん）はおすすめである。

運動編

いつの間にか1日にの歩数が2万歩が普通になってきた。職場で平均1万4千歩くらなので、残りは、夕食後に健康の森の池の周囲を歩くようにした。1週1150mだ。3周を目標に歩いた。休日は大変だ。朝食後と夜も歩かないと2万歩は達成できなかった。買い物は歩数がかせげるのでおすすめだ。　一人で歩くのはつまらないので健康の森へ、無理に家人を誘う。休日は双眼鏡片手にバードウオッチングもするので楽しみが多い。冬はまた新顔が見られて楽しい。今年はシメやアオジにあった。コゲラも飽きるまで見た。

目標編

これが一番大事だと思う。なにか目標があると取り組みやすい。10月はスキー宿を予約した。存分滑るためには体力をつけなくちゃと思う。

職場のみんなに「12月の東海シティーマラソンに出場する」と宣言した。体重が多いのに走ると膝などを痛めるので、減量せねばと思う。体重が減った11月になってから走り始め、当日は肉離れしそうになりながらも10kmを走り、記録は57分だった。全然苦しくないので筋肉がもう少し強くなればタイムも縮まるだろう。

正月のスキーも日頃歩いていたせいか、極めて快調で思い切り滑れた。

誘惑編

職場の宴会やつき合いのパーティー、家庭内の食事会などは、カロリーの多いものが多いので要注意である。自分の誕生会をタイ料理店でしたときはフタ付き容器をもっていき、多すぎると感じた分はそれに入れて持ち帰った。そうもできないときは記録カレンダーを見ながら、増えた分の体重を減量するようにしている。

将来編

老後にむけて筋肉を鍛えないといけない。力仕事を増やしたり、ダンベルを握ったり、試行錯誤が続いている。

最後に出費編

衣類のサイズが変わったので、出費が少しあっただけです。